

平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月31日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 4463 URL http://www.nicca.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213(代表)
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 平成30年9月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	24,752	5.7	1,213	12.7	1,266	15.2	1,829	219.8
29年12月期第2四半期	23,414	11.7	1,076	21.9	1,099	32.3	571	42.2

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 2,052百万円 (197.6%) 29年12月期第2四半期 689百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	116.58	—
29年12月期第2四半期	36.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	55,486	23,100	35.7	1,261.49
29年12月期	55,094	21,614	34.3	1,206.05

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 19,792百万円 29年12月期 18,922百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	8.00	—	8.00	16.00
30年12月期	—	8.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	3.1	2,500	18.1	2,500	15.1	2,500	80.1	159.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期 2 Q	17,710,000株	29年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	30年12月期 2 Q	2,020,147株	29年12月期	2,020,052株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期 2 Q	15,689,934株	29年12月期 2 Q	15,690,953株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（自平成30年1月1日至平成30年6月30日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が継続し、世界経済においても底堅く推移しました。しかしながら、各国・地域における政治的・地政学的リスク、金融資本市場の変動、原油価格の動向など、引き続き注視が必要な状況が続いております。

こうした経営環境のもと、当社グループは、化学品事業、化粧品事業ともに積極的な事業活動を推進した結果、売上高は247億5千2百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は12億1千3百万円（同12.7%増）、経常利益は12億6千6百万円（同15.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億2千9百万円（同219.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

① 化学品事業

売上高は173億5千7百万円（同1.1%増）、セグメント利益は10億8千3百万円（同26.5%増）となりました。

主力の繊維加工用薬剤の販売が日華化学（中国）有限公司、広州日華化学有限公司、NICCA VIETNAM CO., LTD. で好調であったことにより売上高が増加しました。

また、NICCA KOREA CO., LTD. において収益性の高い製品の販売が伸びたことに加え、国内でコスト最適化活動を継続的に推進した結果、セグメント利益は増加しました。

② 化粧品事業

売上高は68億3千9百万円（同12.5%増）、セグメント利益は10億5千2百万円（同0.1%増）となりました。

当社デミ コスメティクスにおいて主力ヘアケアブランド拡販に注力したことにより、当社及びイーラル株式会社の国内サロン向け化粧品の販売が増加しました。また、山田製薬株式会社における化粧品ODM事業や、DEMI KOREA CO., LTD. における販売も引き続き好調であったことにより売上高が増加しました。

一方、国内外の化粧品事業の将来に向けた新たな投資案件や工場のメンテナンス等の費用が発生した結果、セグメント利益は微増となりました。

③ その他事業

売上高は5億5千4百万円（同232.3%増）、セグメント利益は1千4百万円（前年同四半期はセグメント損失1千4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、3億9千2百万円増加し、554億8千6百万円となりました。主な要因は、投資その他の資産が減少する一方で、現金及び預金、固定資産（主に建設仮勘定）が増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ、10億9千4百万円減少し、323億8千6百万円となりました。主な要因は、長期借入金が増加する一方で、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、14億8千6百万円増加し、231億円となりました。主な要因は、利益剰余金、非支配株主持分が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の34.3%から35.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、化学品事業におけるアジアを中心とした海外子会社が好調に推移したこと、化粧品事業における国内販売が好調に推移したこと、及び為替レートにおいて想定より円安に推移したこと等を踏まえ、平成30年12月期通期連結業績予想は売上高、営業利益ともに当初予想に対して増加となる見込みであります。その内容につきましては、本決算短信及び決算補足資料に記載の通りであります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,987	9,463
受取手形及び売掛金	10,774	10,811
商品及び製品	3,634	3,752
仕掛品	664	801
原材料及び貯蔵品	2,937	3,164
その他	2,348	1,394
貸倒引当金	△13	△18
流動資産合計	28,333	29,371
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,384	12,995
機械装置及び運搬具（純額）	2,470	2,334
土地	6,153	5,326
その他（純額）	749	2,376
有形固定資産合計	22,758	23,033
無形固定資産		
のれん	20	14
その他	526	519
無形固定資産合計	546	533
投資その他の資産		
その他	3,459	2,551
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産	3,456	2,548
固定資産合計	26,761	26,115
資産合計	55,094	55,486

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,110	6,168
短期借入金	17,680	9,727
未払法人税等	262	450
賞与引当金	646	560
厚生年金基金解散損失引当金	494	—
その他	2,906	3,953
流動負債合計	28,102	20,860
固定負債		
長期借入金	1,495	7,500
退職給付に係る負債	2,939	2,952
株式報酬引当金	40	55
その他	903	1,017
固定負債合計	5,377	11,525
負債合計	33,480	32,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	3,054	3,054
利益剰余金	13,237	14,941
自己株式	△1,479	△1,479
株主資本合計	17,711	19,414
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	621	460
為替換算調整勘定	750	60
退職給付に係る調整累計額	△160	△143
その他の包括利益累計額合計	1,211	377
非支配株主持分	2,691	3,307
純資産合計	21,614	23,100
負債純資産合計	55,094	55,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	23,414	24,752
売上原価	15,855	16,708
売上総利益	7,558	8,043
販売費及び一般管理費	6,482	6,830
営業利益	1,076	1,213
営業外収益		
受取利息	13	26
受取配当金	34	38
持分法による投資利益	25	34
助成金収入	49	25
その他	88	71
営業外収益合計	212	197
営業外費用		
支払利息	41	35
為替差損	65	43
売上割引	46	45
その他	36	19
営業外費用合計	189	144
経常利益	1,099	1,266
特別利益		
固定資産売却益	0	3,598
投資有価証券売却益	108	—
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	—	32
補助金収入	—	143
特別利益合計	108	3,774
特別損失		
固定資産除却損	11	3
固定資産売却損	0	—
特別功労金	2	—
減損損失	22	—
特別損失合計	37	3
税金等調整前四半期純利益	1,170	5,036
法人税等	506	2,015
四半期純利益	664	3,021
非支配株主に帰属する四半期純利益	92	1,192
親会社株主に帰属する四半期純利益	571	1,829

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	664	3,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	△160
為替換算調整勘定	△29	△825
退職給付に係る調整額	36	16
その他の包括利益合計	25	△969
四半期包括利益	689	2,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	574	995
非支配株主に係る四半期包括利益	115	1,057

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成29年1月1日 至平成29年6月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成30年1月1日 至平成30年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,170	5,036
減価償却費	882	963
減損損失	22	—
のれん償却額	41	4
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	53	36
株式報酬引当金の増減額（△は減少）	—	14
厚生年金基金解散損失引当金の増減額（△は減少）	—	△494
賞与引当金の増減額（△は減少）	△103	△86
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△12	4
受取利息及び受取配当金	△48	△65
支払利息	41	35
為替差損益（△は益）	△18	17
持分法による投資損益（△は益）	△25	△34
固定資産処分損益（△は益）	12	△3,594
投資有価証券売却損益（△は益）	△108	—
補助金収入	—	△143
売上債権の増減額（△は増加）	1,215	△271
たな卸資産の増減額（△は増加）	543	△648
仕入債務の増減額（△は減少）	△805	153
未払消費税等の増減額（△は減少）	11	42
その他	△489	991
小計	2,384	1,961
利息及び配当金の受取額	58	95
利息の支払額	△43	△36
法人税等の支払額	△412	△953
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,986	1,068
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,554
定期預金の払戻による収入	48	204
有形固定資産の取得による支出	△1,823	△1,192
有形固定資産の売却による収入	1	4,336
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	137	—
補助金の受取額	—	143
その他	△49	△120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,691	809
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	60,886	46,651
短期借入金の返済による支出	△60,079	△56,340
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△4
長期借入れによる収入	—	8,500
長期借入金の返済による支出	△345	△695
配当金の支払額	△157	△125
非支配株主への配当金の支払額	△175	△439
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	130	△2,453
現金及び現金同等物に係る換算差額	△40	△258
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	384	△834
現金及び現金同等物の期首残高	5,834	7,987
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,219	7,153

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成29年1月1日至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,167	6,079	23,247	166	23,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	12	12	69	81
計	17,167	6,092	23,259	236	23,496
セグメント利益	856	1,051	1,907	△14	1,893

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,907
「その他」の区分の利益	△14
セグメント間取引消去	9
全社費用(注)	△827
四半期連結損益計算書の営業利益	1,076

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに含まれない全社資産において、22百万円の減損損失を計上しております。これは、共用資産である倉庫等の取壊しの決定に伴う減損によるものです。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成30年1月1日至平成30年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,357	6,839	24,197	554	24,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	1	1	138	140
計	17,357	6,841	24,199	693	24,892
セグメント利益	1,083	1,052	2,135	14	2,149

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,135
「その他」の区分の利益	14
セグメント間取引消去	3
全社費用（注）	△940
四半期連結損益計算書の営業利益	1,213

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

4. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。